



にじいろ通信 No.75

発行：社会福祉法人健翔会 にじいろ
所在：埼玉県行田市谷郷 2-16-26
TEL：048-598-7898 FAX：048-598-7319
責任者：にじいろ管理者 齋藤真知子
MAIL：nijiir@kenshokai.net

「にじいろ」は児童福祉法により、障害特性のある子どもたちに日中活動を提供する健翔会の第3号事業所です。

梅雨の雨音も好きだけど、外で遊びたい子どもたち。夏が待ち遠しいね!!

安全で安心できるにじいろを目指しています。

「訴えを受け止める」

児童発達支援管理責任者 齋藤真知子

梅雨の時期は雨で外遊びが減りますが、子どもたちは雨音を聞きながら落ち着いて過ごしています。さて、先日ニュースで6歳の児童が家族に殺されてしまった痛ましい事件がありました。この子は近所の人に「助けてください」と何度も訴えていたそうです。この子の訴えが届かなかったことが残念でなりません。「訴え」と言えば、言葉にうまくできない児童からトイレサインやもっと欲しいジェスチャー、うなずく、首を振る、手を引っ張るなどで思いを伝えられるこ



「熊狩りにいこう」の絵本体験を行いました。草原や、どろんこ沼、川、吹雪の中、洞窟を抜けていく物語。さて子どもたちは熊から逃げるのができたのかな？



お父さんいつもありがとうの感謝を込めて、父の日プレゼント制作で革財布(小銭入れ)を作りました。初めて針と糸を使った児童もいました。興味津々で作りました。

とが多くあります。先日ある児童から職員へ手引き行動がありました。いつもならすぐに対応していましたが、他児童の対応に追われており「ちょっと待っててね」と。その後再度手引き行動があったので別の職員が対応しました。どこに連れて行かれるのかと思ったらトイレでした。その児童は「自分からトイレに誘うことはほぼない、手引きの時は欲しい物がある時、急ぎではない」と職員の「この子はいつもこうだから」という思い込みや先入観、決めつけが本当の訴えを逃していました。訴えにはすぐに対応し、事の確認と優先順位を判断しなくては行けないと改めて気付かされた出来事でした。子どもたちの訴えを無駄にしないように思いをしっかり受け止めて応えていける支援者でありたいです。



川底の小石がいた、た、た、た、急いで歩こう！



吹雪の中はアイスノンで表現。「つめたーい」と言いながら進むことができました。



洞穴トンネルを抜けると、そこには熊が!! 覗いてばかりいないで、もぐっておいで〜。



梅雨の晴れ間に、春に植えたジャガイモを収穫しました。土の中から大きなジャガイモをたくさん掘り出すことができました。「ほったどー」と嬉しい声が聞こえます。

★7月の主な予定

- 3日：七夕飾り制作 5日：七夕飾りつけ 6日：リトミック体操 7日：七夕レク「織姫を取り戻せ」
- 10日：夏のちぎり絵 18日：風船バレー 19日：フープ取りゲーム 25日：信号ゲーム
- 26日：にじいろ合同水遊び大会 28日：7月誕生日会

★にじいろでほしいもの おもちゃ、本、

★ありがとうございました 新井様：お菓子平井様：アイス 岩立様：お菓子、文房具、椅子 吉野様：お菓子